

ニューロコンピュータの入力ノードセットとか出力ノードセットのノードの数は固定していません。ということは、状況に応じて、入出力ノード対は付け加え有れるものでなくてはならないということです。だから、入出力ノードとパスというメモリに学習プロセスが動くMPUという部品のプールというものが想定されます。そのプールからニューロ部品を切り出し、実際のニューロコンピュータを組み立てて行く。大概是2層のニューロコンピュータでよろしいですが、多段層のニューロコンピュータを創っても良い。

多段層のニューロコンピュータをデープラーニングタイプにするには、段階的に、学習が制御できなくてはなりません。基本的に、出力ノードはコンセプト・オントロジーにすべきでしょう。そうすれば、コンセプト・オントロジーを決定する段階の学習は意味あるものになりますし、その上位の層のニューロコンピュータを創る作業も明快になります。

前に、CPUの命令群をバラバラにした並列コンピュータを提案しましたが、ニューロコンピュータもバラバラにして、状況に応じて組み立てて、おおきなコンピュータにして使っていくということも必要になるのではと思います。

おわり